

# 日本ECMOnet 搬送コーディネーター チェックシート

ver.2.2

年 月 日

患者氏名:	年齢: 歳	男・女	搬送コーディネーター氏名:
紹介元医療機関:	→	搬送先医療機関:	

1. 要請後の出動準備	覚知:	時	分
-------------	-----	---	---

- 【CSCAの確立】
- ECMO搬送チームの人員を参集し、指揮権を持つ搬送コーディネーターをチーム内で明確化する
  - 紹介元施設の連絡先、搬送先施設の連絡先を確保して、連絡役を搬送コーディネーターに一本化する
  - 予定出発時間をチーム内に共有し、各自出動のための準備に取り掛からせる
  - 必要に応じて紹介元施設に先遣隊を派遣し、迅速なECMO適応判断や導入に向けた準備に向かわせる
- 【紹介元施設への連絡】
- 主治医から患者情報収集を行う（身長、体重、簡単な病歴、呼吸状態。可能な範囲で呼吸器設定の応急処置的アドバイスを実施）
  - 輸血の準備、中心静脈ラインを左内頸静脈に移すことを、主治医に依頼する
  - 紹介元施設への予定到着時間を主治医に伝える
  - 施設到着時の病院入り口・患者の入院場所を確認し、透視室の使用の可否を確認する（透視下でのカニューレーションが望ましい）
  - 搬送チームが持参する資機材・人員・同意書を主治医に伝える（不足分の補填を事前に依頼する）
  - 個人情報保護の観点から「ECMO netに相談することに関して**主治医から患者家族**に同意を取ることが望ましいこと」を主治医に伝える。可能であれば、書面での同意書を取得することを奨める（最終的には主治医の裁量に委ねられる）
  - 「ECMO net所属の者が紹介元施設で医療行為を行うことに関して、**主治医から紹介元施設の病院長（不在の場合はそれに準ずる者）**の了承を得ておく必要があること」を主治医に伝える
  - 「上記の了承を得た旨を診療録に必ず記載すること」を主治医に依頼する
- 【行政機関への連絡】
- COVID-19患者の施設間搬送の場合、都道府県調整本部や管轄保健所の許可を得る
  - COVID-19患者の**都道府県を跨いだ**施設間搬送の場合、紹介元および搬送先施設双方の管轄都道府県知事（またはそれに準じた者）の許可を得る
- 【出発前ブリーフィング】
- 物品チェックリストを用いて必要資機材の最終チェックを行う
  - 患者情報・予定クロノロジー・紹介元施設での役割分担などチーム内での情報共有を行う要請～出発まで1時間以内が目標
  - 紹介元施設・搬送先施設へ出発連絡を入れる（予定到着時間を伝える）
- |  |     |   |   |
|--|-----|---|---|
|  | 出発: | 時 | 分 |
|--|-----|---|---|

2. 紹介元施設での活動	紹介元発:	時	分
--------------	-------	---	---

- 【患者の評価】
- 患者を迅速に評価し、ECMOの導入を決定する → 適応なしの場合  呼吸器搬送となった旨を搬送先施設に連絡する
  - ECMO導入を行う場所を確認し、患者・人員・資機材の移動を指示する
- 【同意書類の取得・確認】
- ECMO net搬送チームの現地での医療活動を当該施設の病院長が了承した旨のカルテ記載を確認する
  - ECMO導入の同意書を、**主治医**が患者家族より取得する（可能な限り搬送コーディネーターも同席し説明の補助を行う）
  - ECMO搬送の同意書を、**搬送コーディネーター**が患者家族より取得する
  - 導入および搬送は**紹介元施設に責任の所在**において実施されることを、主治医および患者家族とも共有する。
  - 必要に応じて、搬送に関わる費用（交通宿泊費、高速道路代、ガソリン代などの費用）は**患者家族の負担**になる旨を説明する
- 【ECMO導入】
- 可能な限り透視下でのカニューレーションが望ましいが、透視室が使用不可の場合は①経食道エコー下でのカニューレーション、②ポータブルXpでのガイドワイヤー確認などで代用し、安全確実にカニューレーションを実施する
  - 可能な限り紹介元施設の医師をカニューレーターとして据えて、ECMO net搬送チーム医師はサポートに入る形が望ましい。（しかし紹介元施設がECMO導入に不慣れな場合はその限りではなく、ECMO net搬送チームで安全確実な導入を行うことも許容される）
  - 導入後、カニューレ先端位置は必ず画像所見を残して、カニューレ刺入長はマジックペンなどでマーキングしておく
  - カニューレの縫合固定・カニューレや回路の皮膚へのテープ固定を強固に行う
- 【搬送車両への搬入に向けたパッキング】
- 搬送先施設にECMO導入終了の連絡と、予定到着時間を一報する
  - 診療情報提供書・画像CDR・患者荷物を受け取る
  - 後片付け・清掃・物品チェックリストを用いて忘れ物チェック・使用した物品のコスト表を作成する
- 【搬送車両への搬入】
- 車内搬入後、酸素及び電源をすぐに切り替える
  - 車内での人員配置と役割分担を明確にする
  - “Mobile ECMO搬送経過シート”を用いて、出発前のECMO安全確認チェックを実施する

3. 施設間搬送	紹介元発:	時	分
----------	-------	---	---

- 搬送先病院に紹介元出発の一報と到着予定時間を連絡する
- “Mobile ECMO搬送経過シート”を用いて、5分毎に患者バイタルサイン・ECMO設定・回路内圧を記録する
- “Mobile ECMO搬送経過シート”を用いて、定期的にECMO安全確認チェックを実施する

4. 搬送先に到着	搬送先着:	時	分
-----------	-------	---	---

- 搬送ミッション終了後に必ず搬送メンバー全員でデブリーフィングを実施し、合併症トラブルの集計とそれに対する改善点を協議する